

レイチェル・カーソン日本協会関東フォーラム総会報告

2022年4月16日（土）10：00～12：00

出席者：29名（うち飯田橋ボランティアセンター参加は10名）

今年度もZoom と飯田橋ボランティアセンターを繋いだハイブリッド開催となりましたが、昨年同様、多くの方が参加して下さいました。

総会では、まず会則の改定案について話し合いが行われ承認されました（詳細はHP会則参照）。続いて2021年度活動報告と決算及び2022年度活動計画と予算が報告され、いずれも承認されました。

今年は「沈黙の春」出版60周年ということで、記念行事として毎年恒例の秋の講演会に加えてパネル展示会の開催を計画しました。秋の講演会は生命科学研究者の中村桂子さんをお願いしております。今年度もコロナ禍の収束予測がつかない状況ですが、さまざまな状況を想定しながらこれから準備を進めていきます。パネル展示は、全国の大学や図書館などにカーソンのパネルを貸し出して展示していただくという企画で、これから展示会場を提供していただける場所を募集していく予定です。また自然を語る会も「沈黙の春」をテーマに現代の環境と比較して読み進めていく予定です。自然観察会は5月15日に皇居東御苑、5月28日～29日には清里がありホームページやフェイスブックでこれから参加者を募集します。

その他、総会で決定した事項は以下。

- ①会費の振込先は今後ホームページにも掲載する。
- ②個人情報保護規定について今後検討する。
- ③パソコンに接続できるスピーカーを会として購入する方向で検討する。
- ④福岡伸一さんの講演と上遠恵子さんとの対談のYouTubeは、今後一般公開する。
- ⑤会誌などの協会の資産管理として大学のアーカイブサービスの利用を検討する。

最後に、全員一言自己紹介を行いました。皆さんいろいろな場で活躍していらっしゃる事がわかりました。ウクライナの悲劇は今もなお続いています。「沈黙の春」出版60周年を記念すると共にウクライナに一刻も早く平和が訪れることを祈りつつ、様々な活動を展開していきたいと思えます。

（文責；柳澤）